

8/22 平和継承を誓う ～対馬丸慰霊祭～

8月22日(木)、若狭の「小桜の塔」で、69年前のこの日、多くの子どもたちを乗せ、米軍の潜水艦の攻撃を受けて沈没した学童疎開船『対馬丸』の犠牲者を悼む慰霊祭が行われました。生存者や遺族、関係者ら約350人が参列して亡くなった方々のご冥福を祈りました。

慰霊祭では、犠牲者が当時在籍していた小学校の児童でつくる「つしま丸児童合唱団」が、「明日という日」など3曲を合唱したほか、参列者全員で戦没者へ哀悼の意を込め、1分間の黙とうを捧げました。最後に、平和への思いを託したオオゴマダラが放蝶されました。



9/5 津波避難協定者へ感謝状！

9月5日(木)、本市と「津波緊急一時避難施設協定」を締結していただいている企業および個人36社(者)に対し、本市の防災行政への深い理解と協力に感謝の意を表し、感謝状を贈呈しました。協定者を代表して、株式会社かりゆしの平良朝敬 代表取締役会長は「緊急時には、行政だけではなく、企業をはじめ私達地域の一人一人が担う役割は重要であり、今後とも危機管理を徹底していきたいとあらためて感じています。これを機会に、より避難施設協定者が増えていくことを願っています」とあいさつしました。



【ブラジル サンビセンテ市】
那覇市・サンビセンテ市
姉妹都市締結35周年記念
プレート除幕式の様子

9/7 ～村々美らさ くとぅば清らさ～

9月7日(土)、市民会館中ホールにて、うちなーぐち発信事業「島々ぬくとぅば語やびら大会～村々美らさ くとぅば清らさ～」が行われました。沖縄本島(沖縄市、那覇市、糸満市、嘉手納町)、伊江島、奄美大島、与那国島、多良間島、竹富島在住または出身の11の方が、各々の島の言葉で弁論を行い、会場は笑い大きな拍手に包まれました。



【ハワイ ホノルル市】
ハワイオキナワン
フェスティバルにて、
参加者全員で
かちやーしーを踊り、会
場内は沖縄ムード一色に



8/25～9/1

“友好の絆” 確認 姉妹都市訪問 (サンビセンテ市・ホノルル市)

今年は、ブラジルへの沖縄県人移民105周年およびサンビセンテ市との姉妹都市提携35周年の節目の年となることから、記念式典へ出席するため、翁長市長をはじめ6人の市訪問団が8月25日サンビセンテ市を訪問しました。訪問団は、ビリー サンビセンテ市長を訪ね、今後の交流継続・強化を確認したほか、ブラジル沖縄文化センターやブラジル日本移民資料館などを見学しました。また、ハワイ州ホノルル市で開催されたハワイオキナワンフェスティバルにも参加し、カークホノルル市長や市民クラブから温かな歓迎を受けました。



9/9 しまくとぅば普及に期待！ ～小冊子贈呈式～

市教育委員会が作成した「しまくとぅば継承・普及小冊子」の贈呈式が、9月9日(月)、市役所で行われました。この小冊子は8月中旬に市内全小中学校に配布されており、この日は、代表して開南小学校児童6人に、翁長市長より小冊子が手渡されました。6年の嘉数 帆葉(かかず ほのか)さんは、「沖縄の言葉としていつまでも残していけるように頑張りたい」とあいさつしました。



9/8 救急業務の大切さ学ぶ

“わたしも命を救うチームの一員です”をテーマに、9月8日(日)、サンエー那覇メインプレイスにて、「平成25年度救急・防災フェア」が開催されました。フェアでは、ミニ消防車乗車体験や濃煙体験、AEDを使った応急手当体験などが行われ、参加者は楽しみながら救急業務の大切さを学びました。



9/7・8 世界の名器を体験！

市では、一括交付金を活用して昨年3台のグランドピアノを購入し、市民会館とパレット市民劇場に設置しました。購入したピアノは、世界の二大名器と称される「スタインウェイ社製」と「ベーゼンドルファー社製」です。このうち2台のピアノが設置された市民会館において体験演奏会が行われ、市民37人が名器の感触を体感しました。



9/13 祝！全国制覇！ ～興南高校ハンドボール部に 那覇市青少年特別賞授与～

8月に佐賀県で行われた平成25年度全国高校総体ハンドボール選手権にて、県代表の興南高校(男子)が決勝で愛知県代表の愛知高校を27-26の接戦で下し、見事4年ぶり5度目の優勝を果たしました。その功績を讃え、9月13日(金)、翁長市長より興南高校男子ハンドボール部へ「那覇市青少年特別賞」が贈られました。興南高校男子ハンドボール部は、全国優勝通算11回目を数え、那覇市青少年特別賞も今回で5度目の受賞となりました。